

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)西千葉学生賃貸マンション 新築工事	階数	地上6F
建設地	千葉県千葉市稲毛区轟町三丁目61番1	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、防火指定なし	平均居住人員	150 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年1月 予定	評価の実施日	2021年12月1日
敷地面積	1,838 m ²	作成者	新日本建設㈱一級建築士事務所 森山 隆
建築面積	779 m ²	確認日	2021年12月1日
延床面積	3,673 m ²	確認者	新日本建設㈱一級建築士事務所 森山 隆



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.0 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア= 3.0</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア= 3.3</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア= 3.0</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア= 2.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア= 3.0</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア= 3.2</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 2.8</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 3.0</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>設計コンセプトは充実した学生生活をおくる寄宿舎として、1人暮らしの生活環境の「快適性の向上」をコンセプトとし設計した。</p> <p>配慮した点は周辺が住宅地である為、日影が大きくなるように北側の建物高さを低く計画した。道路面に対しては緑地帯を可能な限り設けることで、周辺環境にも配慮した。</p>		<p>その他</p> <p>0</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>専有部分について、高い昼光率を確保し、F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用するなど、室内環境の向上に努めている。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>1Gbitクラスのブロードバンドを利用可能とし、その他の項目についても標準的な配慮を行っている。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>特になし</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>建物全体のBEI=0.96としている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LGS下地やノンフロンの断熱材を採用し、資源・マテリアル項目について配慮した設計を行っている。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>光害抑制に配慮し、その他の項目についても標準的な配慮を行っている。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される